



第47回 樟まつり文化講演会

講師：本岡典子氏

流転の子

ノンフィクション作家

こせい 最後の皇女・愛新覚羅嫺生

— 語り継ぐ歴史 —



父は「ラストエンペラー」愛新覚羅溥儀の実弟溥傑。母は天皇家と縁戚にあたる侯爵家令嬢嵯峨浩。敗戦後わずか5歳で動乱の大陸を流転し、日本と中国、激動の歴史に引き裂かれてもなお愛を貫いた一族の真実の物語。歴史的一族に生を受け、激動の日中を生きた女性の壮大な半生を秘蔵写真や資料を駆使し、著者みづから語る大河朗読講演。



<プロフィール>

「戦争の世紀」を描く歴史ノンフィクションに力を注いでいる。構想20余年、取材執筆4年の歳月をかけた『流転の子 最後の皇女愛新覚羅嫺生』（中央公論新社）がベストセラーに。メディアコメンテーターとしても活躍している。元ニュースキャスター。日本文藝家協会会員。日本女性医学会会員。関西学院大卒。

日時：平成31年2月5日(火)午後2時～4時
(1時30分開場予定)

会場：調布市文化会館たづくり8階 映像シアター
定員：100人(当日先着)

問合せ：調布市立図書館 読書推進室(たづくり10階)
TEL. 042-441-6328(午前9時～午後5時)

共催：調布市立図書館、アカデミー愛とぴあ